

「全鍍連」 2018年 7月号 巻頭言

全鍍連 経営委員会担当副会長 池田 伸一（三和鍍金工業(株) 代表取締役）

「EV時代、人手不足時代の中での経営」

全鍍連の経営委員会担当副会長の池田です。経営委員会主催の「先輩経営者との意見交換会」は、めっき業界における先輩経営者との意見交換会」は、めっき業界における先輩経営者を講師としてお迎えし、次世代のめっき業界を担う若手経営者に対しご講演頂き、公演後ダイレクトに意見交換を行う企画です。

昨年は長野県塚田理研工業の下島社長さんにご講演を頂いた後、全国から 36 名の若手経営者の方と、活発な意見交換が行われました。下島氏より環境排水リサイクルへの取組み等、「新聞を活用し、アンテナを高く張り続ける」「教育とは何度も同じ事を伝え続けること」などシンプルな事を一生懸命続ける事の大切さを、エピソードを交えて語って頂きました。今年は9月21日に伊藤豪さん全鍍連元会長、太陽電化工業(株)会長に、愛知県で開催を予定しております。

経営委員会主催のもう一つ「女性経営者部会」昨年6月の総会で、富山ユニゾンの梅田ひろ美さんが部会長を退任されて大阪センショーの堀内麻祐子さんが就任されて、記念講演では京都の生八ツ橋で有名な聖護院の鈴鹿可奈子専務さんが、「生き続ける企業を目指して」というテーマにて講演されました。参加されている女性経営者の皆様は、強力なリーダーシップを持たれた方ばかりで、改めて女性経営者部会員の皆様に敬意を表したいと思います。昨年の11月には研修会を、山田全鍍連副会長の福岡県(株)九州電化さんを訪問しました。山田登三雄社長の奥様が山田佳代子副会長、女性経営者部会副会長で、副社長ならではの女性目線で、女性が働きやすい環境設備の整備に積極的に取り組んでおられ、女性が副社長を務める会社ならではの細やかな気配りを受け、工場見学へ工場内は5S活動のほか、「めっき道場」などユニークな取組みがなされているようでした。今年の6月22日の総会では記念講演として、大阪の富士電子工業(株)の渡邊弘子社長さんに講演を頂きました。ものづくりなでしこ代表です。

自動車産業が自動運転や電動化など、「100年に一度」と言われる変革期中、電気自動車(EV)が新たな潮流になりつつある世界の自動車産業、ガソリンエンジン車の製造を前提にしてきた伝統的なモノづくりは経験したことのない大波に直面し、EVに変わると「残る部品」と「なくなる部品」と厳しい「EVの時代」が見えてくる。「ハイブリッド車(HV)を含め、ガソリンエンジンがすぐに全部無くなるわけではない。」と楽観論もありますが、めっき業界にも今後、影響があるのは間

違いがないと思われます。

人手不足は企業にとってマイナスの要素が大きいため、人手不足だと感じる初期段階、不足する恐れがあると判断した段階で対策を練る必要性があります。企業の人材不足は単純に業務が忙しくなるだけに、とどまらず企業の存続にまで影響する可能性もあります。また団塊世代の経営者が大量に引退期を迎え日本は大事業承継時代に突入して、世の中のモノづくり企業のほとんどは中小企業で、その共通の課題は後継者の養成です。

全銀連経営委員会では、今後ともこの課題が大きなテーマ課題だと思いますので、皆さんと一緒にご支援、御協力を御願いたします。